

希望坂(北中だより)

第8号 令和2年7月31日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「知性・感性・耐性」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

TEL:0942-89-2008 Fax:89-2079



◇1学期 終業式◇



終業式の前に、先の地区中総体の表彰をしました。入賞した生徒にインタビューするとともに、以下のような話をしました。

「結果を残せたみなさん、おめでとうございます。結果は大事です。しかし、結果がすべてではありません。目標に挑んでいく中で得るものに、本当の価値があります。挨拶ができ、言葉づかいを知り、マナーのある人間に育ったこと。価値があります。体力がついたこと、弱気になる自分に勝てるようになったこと。これも価値があります。友達と協力して、支え合って頑張れたこと。とても大切なことです。それらの目に見えない賞状やトロフィーを大切にしてほしいと思います。」

終業式では、新型コロナウイルスに負けずに頑張った生徒たちをねぎらいました。そして、そのあとで次のような話をしました。

「先日2年生の『職業人に学ぶ』講座を見学した後、働くことについて考えていたら、ふっとある言葉が脳裏に浮かびました。『働かざる者、食うべからず』という言葉です。そういえば最近あまり聞かなくなったなと思いました。

『働かないものは、食事をしたらいけない』というのですが、私は子供のころ、よく親から言われていました。私の家は農家でしたので、麦刈り、田植えのあとは、今時分でしたら玉ねぎの収穫と出荷という仕事がありました。今と違って手仕事が多かったので、当然手伝わないとはいけません。テスト前であろうと、部活動の大会前であろうと、そんな事お構いなしです。手伝いをさぼろうものなら、『働かざる者、食うべからず』とぴしゃりと言われたものでした。今どきこんな言葉をいう保護者の方は、いらっしやいませんよね。しかし、働かないと食べていけないのですから、ある意味で真理をついた言葉でもあります。

社会に出た人間、とりわけ親のすべきことは、働いて家族を養い、子どもを学校で学ばせること、そして仕事によって社会に貢献することです。

では、社会に出ていない君たち中学生のすることは何でしょうか。それは勉強して考える力を身に付け、心を鍛え、健康な体をつくり、社会に出る準備することです。それがみなさんの仕事です。夏休み中にはゆっくりする時間をとってください。それにプラスして、社会に出る準備の一部も怠らないでください。それに何か家の手伝いまでできれば、親に喜ばれそうですね。

新型コロナウイルス感染に十分注意して安全に過ごし、2学期の始業式に全員が元気に登校できることを願っています。」

◇体育大会に向けて◇

今年の体育大会は、縮小を行いながら実施する予定です。しかし、生徒の活躍の場はなんとか作っていきたいと思います。「出番・支援・承認」を合言葉に職員一同サポートしたいと考えています。

7月20日に各団の組織や色を決める抽選会が行われました。

7月29日の結団式では鷺崎君から今年のスローガンが発表され、実行委員長の梅田君の話に全員が聞き入っていました。各団に分かれた後は、それぞれのリーダーが思いを熱く語っていました。



※8月18日(火)3年生修学旅行についての説明会を行います。3年生の保護者様は裏面を参照ください。